



# 一人一人を大切にする学校 船橋法典高等学校

創立 30 周年を迎え  
新たなステージへ発進します！



平成 18 年度に自己啓発重点校の指定を受け、「厳しく・優しく・美しく」  
「一人一人を大切にする学校」のスローガンのもと全校あげて学校改革に取り  
組んできました。さらに、SNE モデル校、社会奉仕活動推進校等の取組の中  
で、一層きめ細やかで丁寧な指導を展開しています。

そして今年、創立 30 周年を迎えた本校は、新たなステージへ発進します。  
本校のスローガンである「一人一人を大切にする学校」としての取り組み  
を紹介します。

## 一日の始まりは、落ち着いた学習環境から 0 校時の朝自習



- 朝自習をすることにより、1 校時からの授業に集中できます。
- 中学校までの学習内容を確認し、基礎力を定着させます。
- つまずきのある生徒は、夏休みの補習で徹底してサポートします。
- 春と秋の読書週間で、読書の楽しさを実感します。
- 漢字検定・数学検定・秘書検定など進路実現を踏まえた学習ができます。
- 放課後、休業中の英検、数検講座でさらに実力を UP します。
- その他、奥の細道、百人一首、一般常識など幅広い教養を身につけます。

## 一人一人に目が行き届く、丁寧な指導 一貫した少人数教育



- 1 年生は全科目、2 年生は数学・理科・英語、3 年生は英語・選択科目で  
15 人から 25 人程度の少人数授業を行っています。
- 体育・情報の授業等でチームティーチングを実施しています。
- 20 世紀の歴史、体育総合、芸術（音・美・書）表現、応用英語、フード基  
礎、服飾基礎など本校オリジナルの学校設定科目を用意しています。
- ユニバーサルデザインを意識した楽しくわかりやすい授業を行っています。

## 厳しく、優しく、美しく 一人一人を大切にした指導



- 厳しい生活指導で規範意識を醸成します。
- 学年室体制で生徒をしっかりとサポートします。
- 毎日、全員で清掃を行い、きれいな学習環境を整えています。
- 発達障害を含めたすべての生徒への指導・支援体制が整っています。
- インターンシップ、上級学校見学、生徒一人一人に対するキャリアカウ  
セリングなどきめ細やかなキャリア教育を推進しています。

## 豊かな心をはぐくむ 充実した体験活動



- 1 年生は、春に鴨川の大山千枚田で田植え体験。秋には葛西臨海公園で収穫  
したお米を使った飯盒炊爨。日本のコメをテーマに学習しました。
- 2 年生は、春に富士山麓で清掃活動の社会奉仕。環境問題を考えました。  
沖縄修学旅行にむけては、調べ学習や文化祭での沖縄の食についての発表など  
一年間沖縄をテーマに学習しています。
- 3 年生は、春に横浜班別研修。秋には学校周辺をオリエンテーリングしなが  
ら身近な地域の再発見をしました。

## 新たなステージへ 部活動、生徒会活動の活性化



- 23 年度より前期選抜で自己表現検査を導入。部活動の実技又はスピーチで受  
検できます。
- 数年前まで、部員不足で悩んでいた部活動。それはもはや昔の話。多くの部  
活動が復活し活躍しています。陸上競技部は関東大会に 3 年連続出場中。
- 部活動でも一人一人を大切にきめ細やかな指導をしています。定期試験の前  
には各部活動で勉強会が開かれています。
- 生徒会では、自主的に東日本大震災の義援金活動を行いました。
- 部活動の生徒中心に、地元警察と連携して「マナーアップ隊」を結成。登校  
時に交通マナー指導のボランティア活動を行っています。

## 成長を続ける船橋法典高校 創立 30 周年記念事業



- 記念事業の一環として全校生徒によるミュージカル「美女と野獣」を鑑賞し  
ました。
- 全校生徒に「校詩」が配布され、学校の歴史について学びました。
- 記念講演では、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の阪本成一教授による「宇宙へ  
の挑戦」と題した講演をしていただきました。「はやぶさ」の話を通して何事  
もあきらめないことの大切さを教えていただきました。

## 一人一人を大切にする心をはぐくむ 地域とのふれあい交流

### 保育体験

9 月～11 月にかけて、2 年生全員が、家庭科  
の授業の一環で柏井保育園で保育体験学習を  
行いました。当日は、自分のペアの子どもに準  
備した絵本の読み聞かせを行ったり、手作りの  
おもちゃと一緒に完成させたりして遊びました。生徒の感想  
から、体験を行う前と後で、子どもや親に対する考え方の変  
化を感じた生徒が多く見られました。

また、園児達を本校体育祭に招待し、自分が担当した子ど  
もと風船を使った競技に参加し、交流を深めました。



「子どもの話が理解できるようになりま  
した。子どもの立場で話を聞く大切さが  
わかりました。」  
「保育士や幼稚園の先生をめざすのもい  
いなと思いました。」



### 親子交流

近隣の親子に来校していただき、インタビュー形式での生徒との  
交流、育児の疑似体験を行いました。子どもだけでなく親や子育て  
に対する理解を深めるよい機会となりました。



「自分自身がこうやって親に大事  
に育ててもらったことがわかり  
ました。」  
「子育ては大変なことばかりだ  
と思っていたけど、喜びの方が  
大きいことがわかりました。」

### 福祉体験

10 月～11 月にかけて、2 年生全員が、地域にある社会福祉施設  
での交流活動を行いました。事前学習で障害者福祉と老人福祉の現  
状について理解を深め、施設では、介護補助・余暇支援・販売準備・  
清掃などの体験活動をしました。



「障害は不便です。でも不幸で  
はありません。」という言葉に感  
動しました。

「おばあちゃんがとても楽し  
そうに昔の話をされていて自然  
と私も笑顔になれました。」

